

# 第5回議会報告会を開催しました。

小美玉市議会では、開かれた議会を目指し、8月5日から8月7日の3日間、3会場において議会報告会を開催しました。報告会でいただいたご意見・ご要望など今後の議会活動に生かしていきたいと思っております。詳細については、市議会HPに掲載します。ご参加いただき、ありがとうございました。

## 美野里会場 Q & A 『参加者 11名』

### ◎区加入者問題について

**Q** 区長会、行政、議会が、三者三様でバラバラで動くのではなく、三者が協力、情報共有して問題解決に当たれないか？

**A** 行政区への加入に対しましては年々低下傾向にあります。そのため、行政においては転入手続きの際、転入者へ行政区の加入を理解していただき同意を得たうえで、対象となる各区長へ情報提供するなど加入促進に努めているところです。

区長会におきましては先進地を研修し加入促進の方法、行政区のあり方などを研修し、問題を解決するため役員会での協議、さらには区長会意見交換会等により協議しているところです。今後におきましては、市自治基本条例の基本原則に基づき区長会・議会・行政の三者がそれぞれ情報を共有し、協力して問題解決に向けた協議をしていきます。

### ◎2025年問題について

**Q** 少子高齢化が進み、地域での支援活動を行う人が減っていくため、ボランティアや支援活動の音頭をとってほしい。

**A** 2025年問題を見据え、介護の担い手が少なくなることから、介護予防の推進とともに、高齢者の皆様の健康寿命の延伸は、大変重要なことです。

議会といたしましても、健康寿命の延伸に向け、執行部及び関係団体などと連携を取りながら、市民の皆さんと一緒に考えていきます。

### ◎羽鳥駅橋上化について

**Q** 西口の階段が、非常に長くて歩きづらい。地元からも、早急にエレベーターを使えるようにしてほしいという要望がある。

**A** 市当局からは「早期使用開始ができるようJRと連携して駅橋上化工事を進めてまいります」との回答をいただきました。議会としても、関連議案の審査など迅速な対応をするとともに、市民の皆様の利便性向上のため、早期供用開始が出来るよう要望してまいります。



▲ 8月5日・美野里公民館 大会議室

◎空き家に関する条例制定について

Q 特定空き家に対する条例制定について、区長会でも希望する声が上がっている。

A 既に、空き家等対策の推進に関する特別措置法が施行されていますので、特定空き家等の措置は法律に基づき実施しております。特定空き家等に関する条例を制定する場合は法律を補完するものが一般的ですので、条例制定の必要性を含めて議会でも検討してまいります。

◎高崎地区の歩道整備について

Q 高崎地区の歩道が途中までしか出来ていない。その先はどのように考えているのか。

A 高崎地区の歩道については、茨城県の整備区間となります。市当局では茨城県に対して整備要望をしているとのこと。議会としても市民の皆様が安心安全に通行できるように継続して整備要望してまいります。

◎通学路問題について

Q 玉里地域の小中一貫校を目指しているとの事だが、通学路の歩道の未整備や、側溝に蓋が無いなど、インフラ整備がされていない。

A 児童の安全を最優先とした上で一定の基準を設け、現在、開校準備委員会において検討しているとのことですが、安全対策は一番重要であると認識しており、歩道の未整備区間や蓋設置など現場の状況に併せて可能な対策を要望してまいります。



▲ 8月6日・生涯学習センターコスモス 集会室

◎ダイヤモンドプロジェクトについて

Q いつまでに、何をもって成果とするのか。次期の総合戦略の基本的な考えは何か。

A 市の総合戦略(ダイヤモンドシティプロジェクト)では、2040年に46000人の人口を維持できたかどうかを成果目標にしております。

A また、この総合戦略は社会の変化や事業チェックを元に、5年ごとに改定することになっており、次期総合戦略について、市当局からは「国が6月に閣議決定した基本方針に示された「Society 5.0」や「SDGs」など新たな時代の流れに対応しながら、若者の定住促進、雇用対策、しごとの創出、結婚支援などの人口減少対策に重点を置いて、実現性と実効性のある戦略にしてまいります」との回答がありました。市議会としても、先進地の調査研究、事業効果の検証、市民の皆様からのご提案などをもとに、魅力ある小美玉市実現のために提言などを通して取り組んでまいります。

※Society 5.0とは…狩猟社会 (Society1.0)、農耕社会 (Society2.0)、工業社会 (Society3.0)、情報社会 (Society4.0) に続く、新たな社会を目指すもので、第5期科学技術基本計画において我が国が目指すべき未来の姿として提唱された。

※SDGs (エスディージーズ) とは…Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標) の略称。世界が抱える問題を解決し、持続可能な社会をつくるために世界が合意した17の目標と169のターゲット。2030年までの国際目標として地球上の誰一人として取り残さないことを誓い、世界各国で取り組まれている。

小川会場 Q & A 『参加者 16名』

◎公共施設の維持管理対策について

Q 箱物の管理費がかかるが、これの良いのか。

A 公共施設については、施設の現状と課題を整理し、施設毎に存続、縮減、統廃合などの施設配置の最適化や、施設の建替え、長寿命化、修繕の優先順位等を勘案した『公共施設個別施設計画』の策定に本年度より取り組んでおります。今後、議会としても調査、検討をしてみたいです。

◎公共ホールについて

Q 各文化センターの目的をしっかりと持って、検討して欲しい。

A 「小美玉市まるごと文化ホール計画」等において、各ホールの個性・独自性を活かしつつ連携した形での事業展開を目指し、今後ビジョンをより明確にできるように事業計画を立てていくとのことです。議会といたしましてはより良い文化ホールの運営方法などを調査研究し、執行部へ要望していきます。

◎企業誘致について

Q 企業誘致を積極的に進めて頂きたい。

A 企業誘致については、議会でも政策提言や先進地視察を行うなど最重要課題として取り組んでおります。市当局においても「企業を誘致することは、雇用機会の確保や市税の増収などの効果が期待できるとともに、経済活動や地域の活性化が図られるなど、重要な施策と位置付け、誘致等に関する優遇制度の拡充などを図りながら、新規企業の獲得と併せて既存企業のフォローアップに努めています」とのことですので、今後も市議会と市執行部が情報を共有しながら取り組んでまいります。

◎行政視察研修について

Q 視察研修は、少人数で実施のうえ、研修内容を議員間で共有してはどうか。

A 行政視察研修については、所管する課題について先進事例の知識を深めるため、各委員会ごとに実施しており、報告書等によって視察成果の共有を図っています。

◎市重要課題について

Q 市の抱える短期・中期的な様々な課題に対し、市議会全体として一丸となって解決していかなければならない課題について伺いたい。

A 市の抱える重要課題については、必要に応じて特別委員会を設置し、問題解決に向けての調査、研究を行っています。現在は、百里基地・茨城空港対策と、地方創生事業内容の効果検証及び、議会活性化対策について、特別委員会を設置して調査、研究を行っております。



▲ 8月7日・小川文化センター アピオス 小ホール